

<福井>国内クレジット制度に基づくCO2排出削減事業の申請について

平成22年3月29日
北陸電力株式会社

当社は、本日(3月29日)、ショッピングセンター「パリオCITY」を運営する東部商業開発事業協同組合(福井県福井市、理事長:塚田恭三)と「国内クレジット制度」に基づくCO2排出削減事業を共同で実施することとし、経済産業省に申請しましたので、お知らせいたします。

本事業は、「パリオCITY」の空調熱源の熱源転換、高効率空調機器への更新、冷温水ポンプのインバータ制御化、照明器具の高効率化により、年間約630トンのCO2削減を行うものです。

今後、国内クレジット認証委員会による排出削減事業の承認、排出削減量の認証などを経て、国内クレジット(CO2クレジット)が発行されることとなります。

当社は、今後とも志賀原子力発電所の安全・安定運転を基本に、再生可能エネルギーの導入拡大やヒートポンプを中心とする高効率な空調・給湯の普及を進めるなど、低炭素社会の実現に積極的に取り組んでまいります。

【CO2排出削減事業の概要】

1. 事業名称：『「パリオCITY」における空調熱源設備、熱搬送設備及び照明設備の高効率設備への更新による省エネ事業』
2. 事業概要：
空調設備の電気式高効率ヒートポンプ空調機への更新による
エネルギー効率の向上
熱搬送設備(冷温水ポンプ)のインバータ制御化によるエネルギー効率の向上
照明器具の高効率機器への更新によるエネルギー効率の向上
3. 実施箇所：「パリオCITY」(福井県福井市松城町12-7)
4. 事業参画者：東部商業開発事業協同組合(CO2排出削減事業の実施主体)
北陸電力株式会社(国内クレジットの購入予定者)
全国中小企業団体中央会(計画書作成、申請手続き等の支援事業者)
5. 事業期間：平成21年12月11日から平成25年3月31日
6. CO2削減見込量：年間約630トン(合計で約2,080トン)

以上

国内クレジット制度の概要

国内クレジット制度は、京都議定書目標達成計画(平成20年3月28日閣議決定)において規定されている、大企業等の技術・資金等を提供して中小企業等が行った二酸化炭素の排出抑制のための取組みによる排出削減量を認証し、自主行動計画等の目標達成のために活用する仕組みです。中小企業等における排出削減の取組みを活発化、促進することを目的としています。

排出削減事業

「排出削減事業者」(中小企業等)
(自主行動計画に参加していない者)

・大企業等の支援により、排出を削減

資金・技術

国内クレジット

「排出削減事業共同実施者」(大企業等)

・中小企業等に資金・技術を提供

国内クレジット認証委員会

- ・排出削減事業の承認【今回申請分】
- ・排出削減量の認証

※ 国内クレジット認証委員会
京都議定書目標達成計画に規定する国内クレジット制度を運営するために設置。
民間有識者からなる第三者認証機関として、運営規則に基づき業務を実施。

自主行動計画の
目標達成等に活用

事業計画の概要

◆事業名称 「パリオCITY」における空調、ポンプ及び照明の高効率設備への更新による省エネ事業

◆事業概要

	現 状	更新後	CO2削減量
空 調	・吸収式冷温水発生器 冷暖房設備	・電気式 高効率ヒートポンプ空調	約615t-CO2
ポンプ	・インバータ制御装置なし	・インバータ制御装置導入	約 7t-CO2
照 明	・メタルハライド型照明	・セラミックメタルハライド型照明	約 8t-CO2

◆削減事業者 東部商業開発事業協同組合

◆共同実施者 北陸電力株式会社

◆関連事業者 全国中小企業団体中央会

◆事業年度 平成21年度～平成24年度

◆排出削減量 約630トン-CO2/年(想定値)

空調、ポンプ及び照明の高効率設備への更新による省エネ事業

①電気式高効率ヒートポンプ空調

更新

重油使用
を廃止



- A重油焚の吸収式冷温水発生器の空調から、電気式高効率ヒートポンプ式空調に更新し、エネルギー使用量を削減

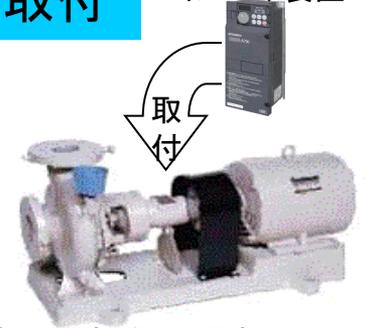
②ポンプのインバータ化

制御装置取付

インバータ装置

電気使用
量が減少

電気



- 必要な流量に応じて最適な回転数で運転

③セラミック メタルハライドランプ照明

更新

電気使用
量が減少

電気



- 消費電力が少ないランプに更新

C02削減量 約630t/年